

目次

ん	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	凡	はしがき
……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	例	……
二三	一九	一〇七	一〇三	七	三	三	五	一	六	二		
	る	り		み	ひ	に	ち	し	き	い		
	……	……		……	……	……	……	……	……	……		
	二二	一〇六		七	七	七	四	四	四	一五		
		る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う		
		……	……	……	……	……	……	……	……	……		
		一〇六	一〇四	九	九	八	六	四	三	一九		
	ゑ	れ		め	へ	ね	て	せ	け	え		
	……	……		……	……	……	……	……	……	……		
	二二	一九		一〇	九	八	六	五	六	三		
	を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お		
	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……		
	二二	一〇六	一〇五	一〇	三	八	七	七	四	三		
												一

- 三三〇⑬* 三三二⑤(一るまじひ) 三三二①
- 一る(体) 一五七⑩ 一六九⑨ 一七五⑮ 一八二⑥
- 一八六③ 三九④ 三三三⑧ 三三三⑨⑬ 三三三⑰ 三三七⑦
- ⑩ 三三七⑦
- 一れ(已) 二〇〇⑫ 三九七 三五七
- 一れ(命) 一五七⑩
- あ・り(有)〔補助動〕
- 一ら(末) 一四四② 一七四⑫ 一五五④ 一八二⑤
- 三三⑦(本文「よくらんか」。「あ」の脱落) 三三三⑮ 三五五⑥
- 一っ(用) 三三三⑰
- 一る(止)〔*印は「有るまい」の形〕 一五七⑮(有まじく)⑬ 一五五⑧ 一五三⑬ 一六〇②⑦ 一七五①(一るまじく) 一七五⑧* 一六〇⑩
- 一る(体) 一八二⑥ 三三六⑰
- ↓おいである・おいにやる・おかきやる・おかへりある・おききやる・おさしやる・おしやる・おたしなみやる・おたぢやる・おたづねある・おちかひある・おぢやる・おつきやる・おなしやる・おなりある・おねがやる・おまうしある・おまちある・おみまやる・おみやる・おりやる・おんをがみある・ごいうらんある・ござある・ごそうもんある
- る・ごめんある・ごもんだいある・ごようしやある・ごらんある・さあらば・ふしやる・やらん
- ありあけのつき〔有明の月〕 一七五⑩
- ありがた・し〔有難し〕
- 一(語幹) 一八五⑦(一の)⑦(一の)
- 一し(止) 一四四③
- ありき(歩き) ↓しのみありき
- ありし〔有りし〕〔連体〕 一七五⑤
- ありどころ〔有所〕 一五三④
- ありのみ〔有の美〕 ↓ふくありのみ
- ある〔或る〕〔連体〕 一五三⑫⑭ 一五九⑭ 一七二③④ 一七五④ 一八六⑥ 一八九④ 一九〇⑤
- あるいは〔或いは〕 一五八① 一五九⑩ 一六〇⑤
- ある・く〔歩く〕
- 一き(用) 一七三⑨(歩給ふ)
- あるじ〔主〕 一六二⑨ 一六三③ 二〇〇⑧
- あれ〔彼〕 三三③④ 三三三③⑭ 三三七⑥⑧ 三五五⑰
- あれほど〔彼程〕 二〇〇③
- あをげ〔青毛〕 二五五⑫
- あをむめ〔青梅〕 二〇〇⑨
- あん〔案〕 一七六⑥ 二〇〇③
- ↓しあん
- あんけん〔暗剣〕 一六二④
- あん・ず〔案〕
- 一ずる(体) 三三三⑫
- あんぜん〔安全〕 一八六④
- ↓こくどあんぜん
- あんぜん・なり〔安全なり〕
- 一に(用) 一八五⑧⑰ 一八六⑩
- あんない〔案内〕 一七四④④
- あんをん〔安穩〕 ↓こくどあんをん

い

- い(意) 一六四④
- いうらん〔遊覧〕 ↓ごいうらん・ごいうらんある
- いうれい〔幽霊〕 一七六⑨
- いか〔鳥賊〕 ↓うけいか
- いかが〔如何〕〔副〕 一五二② 一五七⑫ 一六二⑧ 一六二⑦ 三三三⑰
- いかで〔如何で〕〔副〕 一八二③ 一九九⑧
- いかでか〔如何でか〕〔副〕 一六四⑦ 三三六②
- いか・なり〔如何なり〕
- 一に(用) 一五三⑬ 一五三③④ 一七五⑮
- ⑭⑮ 一九八②
- 一なる(体) 一五二⑪ 一六二④ 一六三⑭ 三三七⑤
- ⑤ 一な(体) 三三三⑰
- いかに〔如何に〕〔感動〕 一七四②④ 一八二②
- 一六四③ 一八六③
- いかにも〔如何にも〕 三三七⑬
- いかやう〔如何様〕 一八七⑥ 一八九⑥
- いかやう・なり〔如何様なり〕
- 一に(用) 一五五①
- 一なる(体) 一六四④⑤ 一七四⑬
- いか・る〔怒る〕
- あり——いたし
- 一り(用) 一五九⑮
- いかん〔如何〕 一五七⑫
- いきあ・ふ〔行き会ふ〕
- 一ひ(用) 一六九⑪
- いきのかみ〔毛岐の守〕 一六八⑧
- いきほひ〔勢ひ〕 ↓おんきよひ
- い・く〔行く〕
- 一き(用) 三三三⑧
- 一(用) 三三〇⑰ 三三三⑮ 三三七⑥⑨ 三五五⑰ 三三七⑦
- い・く〔生く〕〔動下二段〕
- 一け(用) 三三四⑦
- いくさ〔戦さ〕 一八三⑩⑪⑫⑭ 二〇〇③
- いくたび〔幾度〕 一七三⑤
- いけ〔池〕 一五七⑩
- ↓じやらけ
- いけん〔意見〕 ↓ごいけん
- いけみづ〔池水〕 三〇〇④
- いご〔已後〕 ↓ごごんごい
- いき〔感動〕 一七〇⑤
- いき〔砂〕 一六九⑫
- いさびやいなんど〔いさびやいなむに〕〔いさびや(栄螺)「なんど」副助詞「を言いかける」〕 一七二⑦
- いさびやいさびは〔いさび然らば〕〔感動〕 二〇〇②
- いさ・む〔諫む〕 ↓いさむもじり(諫言の大略)
- 一め(用) 一七三⑬ 一八二①
- いざや〔感動〕 一七三③ 三三三①
- いざ・る〔膝行る〕
- 一る(体) 一五八⑬
- いし〔石〕 一五七⑦
- いしやう〔衣裳〕 一八二⑥
- いぜん〔以前〕 一七三③
- いそがは・し〔忙はし〕
- 一しう(用) 三三六⑬
- いそ・ぐ〔急ぐ〕
- 一が(未) 一八五②②
- 一ぎ(用) 一五八⑦ 一六七⑩ 一七五⑮ 一八二②
- 一五五⑫ 三三七⑬ 三三四⑭
- 一い(用)〔全例「急いで」の形〕 一六四④
- 一七五② 一九八⑧ 三三六⑰ 三三七⑦
- いた〔板〕 ↓ごぎいた
- いだきあ・ぐ〔抱き上ぐ〕
- 一げ(用) 一八二⑦ 一八四⑭
- いだきつ・く〔抱き付く〕
- 一き(用) 三三三③
- 一い(用) 三三三①
- 一く(止) 三三〇⑦
- いた・し〔痛し〕
- 一(語幹) 三三九⑪⑰